たかおか 市議会だより

No.84 9月定例会号
令和8年（2026年）11月1日発行

9月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	3P
代表質問	4P
一般質問（一括質問･一括答弁）	6P
委員会の動き	10P

編集■広報広聴委員会
発行■高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail：gikai@city.takaoka.lg.jp

「万葉集全20巻朗唱の会」（たかおか市議会だより表紙写真 応募作品）　撮影：山上 尊士



市議会ホームページから過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議の録画映像は YouTube で配信しています。
パソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

ホームページは
こちら→

YouTube の
視聴はこちら→

補正予算・条例など21議案を可決・同意
代表・一般質問に19人が登壇

9月定例会は2日に開会し、24日に閉会しました。市長から令和8年度一般会計補正予算をはじめ25議案が提出され、うち21議案を可決・同意し、令和7年度決算の認定をはじめ4議案を継続審査としました。

今定例会では、代表質問・一般質問に19人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・同意した主な議案等

条例

■都市公園条例の一部改正

高岡駅北口交流広場にバスケットボールコートを供用することに伴い、使用料等の変更を行うもの。



9月に供用開始された3×3バスケットボールコート

改正後	全面利用	3/4利用
9時～13時	8,000円	6,000円
13時～17時	8,000円	6,000円
17時～19時	4,000円	3,000円
超過料金 1時間につき	3,000円	2,250円

■市立学校設置条例の一部改正

高岡西部中学校を高岡西部小学校及び旧西条小学校の敷地等に移転し、小中一貫校とするもの。

（現行）美幸町二丁目4番1号
（移転後）横田町三丁目4番1号
（施行期日）令和9年4月1日

その他

■工事請負契約の締結

高陵中学校区小中一貫校において、体育館の増築工事を行うもの。

契約金額　8億3820万円

■工事請負契約の変更

下伏間江福田線立体交差整備二期工事における本体工事について、現場の土質条件に合わせ、土留の施工方法を一部変更したことに伴い、契約金額を変更するもの。

（変更前）1億7160万円
（変更後）1億9254万円

■工事請負契約の変更

伏木中学校区小中一貫校校舎増築及び改修に係る公共工事について、インフレスライド条項の適用等により、契約金額を変更するもの。

(1)校舎増築及び改修工事
（変更前）19億2830万円
（変更後）19億3393万円

(2)校舎増築及び改修電気設備工事
（変更前）3億8193万円
（変更後）3億8450万円

(3)校舎増築及び改修機械設備工事
（変更前）5億6004万円
（変更後）5億6092万円

■財産の取得

急患医療センターにおいて耳鼻咽喉科を新設するため、必要な医療資器材を購入するもの。

取得価格　2891万円

人事

■教育委員会委員

笹島　久美子 氏（新任）

■固定資産評価審査委員会委員

山本　茂雄 氏（新任）
串田　光成 氏（再任）
広沢　晶子 氏（再任）

■人権擁護委員

山田　晴義 氏（新任）

議会報告会を開催しました

10月5日(月)19時から、ウイング・ウイング高岡4階ホールにおいて、議会報告会を開催しました。

今回の議会報告会は、広く市民からの意見を聴取し、市政及び議会活動への反映を目指すことを目的として開催されました。

当日は、各委員長から委員会について報告を行った後、ワークショップ形式で25名の市民の皆様と意見交換を行いました。「高岡市庁舎のあり方について」、「高岡市の課題とは」、「未来の高岡　どんなまちにしていきたいか」の3つをテーマに活発な意見交換が行われ、盛況のうちに閉会しました。


グループでの話し合いの様子

YouTubeでの映像配信を行っています!!

本会議の録画映像について、YouTubeでの配信を行っています。表紙の二次元コードから映像の一覧を確認できます。また、4～9ページの各議員の顔写真横の二次元コードからは、各議員の質問の様子を確認できます。ぜひご覧ください。

議会日誌

６月定例会後～９月定例会前

6月26日　広報広聴委員会
　　代表者会議
7月 7日　広報広聴委員会
　14日～15日
　　総務文教常任委員会行政視察
　15日～16日
　　産業建設常任委員会行政視察
　17日　広報広聴委員会
　21日～22日
　　民生病院常任委員会行政視察
　24日　総務文教常任委員会
　27日　民生病院常任委員会
　28日　産業建設常任委員会
　30日　公共施設のあり方検討特別委員会
　　代表者会議
　31日　議会改革検討委員会
8月24日　広報広聴委員会
　25日　議会改革検討委員会
　26日　議会運営委員会
　　代表者会議
9月 2日　正副常任委員長会議

９月定例会

9月 2日　議員協議会
　　本会議（提案理由説明）
　　議案説明会
　　代表者会議
　8日　本会議（代表質問）
　　総合計画特別委員会
　10日　港湾・交通・観光対策特別委員会
　11日　議会運営委員会
　　本会議（一般質問（一括））
　14日　本会議（一般質問（一括））
　15日　本会議（一般質問（一括））
　　水道病院決算特別委員会
　　決算特別委員会
　16日　代表者会議
　　民生病院常任委員会
　　産業建設常任委員会
　17日　議会運営委員会
　　総務文教常任委員会
　18日　議員説明会
　24日　委員長会議
　　議会運営委員会
　　議員協議会
　　本会議（議案など議決）
　　民生病院常任委員会
　　産業建設常任委員会
　　総務文教常任委員会

議決結果一覧表（令和8年9月定例会）

［議　案］

番号	件名	結果
第67号	令和８年度一般会計補正予算（第３号）　8億6,034万円 ≪補正予算の主な内容≫ ・公共交通活性化事業　1億2,024万円 ・埋立処分場管理事業　5,731万円 ・延長保育事業費補助金　524万円 ・学校給食指導事業　1,958万円 ・市単独農業土木事業費　1,150万円 ・財政調整基金への積立て　6億円　など	可決
第68号	令和８年度駐車場事業会計補正予算（第１号）	
第69号	令和８年度介護保険事業会計補正予算（第１号）	
第70号	令和８年度下水道事業会計補正予算（第１号）	
第71号	市職員の給与に関する条例の一部改正	
第72号	都市公園条例の一部改正	
第73号	市立学校設置条例の一部改正	
第74号	工事請負契約の締結 （高陵中学校区小中一貫校体育館増築工事）	
第75号	工事請負契約の変更 （下伏間江福田線立体交差整備二期その４工事）	
第76号	工事請負契約の変更 （伏木中学校区小中一貫校校舎増築及び改修工事）	
第77号	工事請負契約の変更 （伏木中学校区小中一貫校校舎増築及び改修電気設備工事）	
第78号	工事請負契約の変更 （伏木中学校区小中一貫校校舎増築及び改修機械設備工事）	
第79号	財産の取得（耳鼻咽喉科用医療資器材一式）	
第80号	財産の処分（金地金）	
第81号	令和７年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	継続審査
第82号	令和７年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
第83号	令和８年度一般会計補正予算（第４号）　3億566万円 ≪補正予算の主な内容≫ ・保証料補給金等　1億1,625万円 ・市単独農地災害復旧事業　2,300万円 ・国補助土木施設災害復旧事業　2,000万円 ・市単独土木施設災害復旧事業　1,710万円 ・排水機場維持管理事業　1,436万円 ・予備費　5,000万円　など	可決
第84号	令和８年度下水道事業会計補正予算（第２号）	
第85号	教育委員会の委員の任命について同意を求める件	同意
第86号～88号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について同意を求める件	
第89号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件	

［認　定］

番号	件名	結果
第１号	決算の認定 （令和７年度高岡市民病院事業会計決算） （令和７年度水道事業会計決算） （令和７年度工業用水道事業会計決算） （令和７年度下水道事業会計決算）	継続審査
第２号	決算の認定 （令和７年度一般会計歳入歳出決算） （令和７年度国民健康保険事業会計歳入歳出決算） （令和７年度荻布奨学金事業会計歳入歳出決算） （令和７年度駐車場事業会計歳入歳出決算） （令和７年度介護保険事業会計歳入歳出決算） （令和７年度後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算）	

いずれも全会一致で、可決、同意されました。

（議案第81号、議案第82号、認定第１号及び認定第２号を除く）

代表質問

今定例会では、2会派の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



同志会
高岡 宏和

高岡議員の質問の様子はこちら▼

将来世代に引き継ぐまち

問 人口減少が進むなか、10年、20年先を見据え、将来世代にどのような高岡市を引き継ごうとしているのか。

市長 これまで築いてきたまちの魅力と強みを磨き上げ、ひとが交わり助け合い、市民一人ひとりが主体的に未来を創造できるまちをつくっていきたい。高岡駅北側には古城公園や赤レンガの建物など、歴史と文化が息づいている。新高岡駅周辺は広域的なアクセスの良さ、商業・スポーツ・医療環境が整った、生活の利便性に恵まれた賑わいの集積が広がりつつある。こうした古さと新しさが共に栄える「新旧共栄」が実現したまちこそが、多くの人が訪れたくなり、将来世代が活躍できるまちと考えている。市民一人ひとりが未来の担い手であり、個性と能力を最大限に発揮できる環境を整えていきたい。

避難所環境の改善

問 令和8年熊本地震等の教訓を踏まえ、大規模災害時の避難所環境を今後どのように改善していくのか。

総務部長 令和8年熊本地震では、長期の断水に伴う飲料水や生活用水、衛生的なトイレの確保に加え、暑熱対策が大きな課題となった。本市では、これまで組立式給水タンクや自動ラッピングトイレ、移動式エアコン等を整備してきた。8年度は、マンホールトイレや簡易ベッドを配備するなど、取組を加速している。加えて、市立学校体育館への空調設備の整備等も進めている。今後は、県の地震被害想定調査の結果を踏まえ、本市の災害備蓄計画について、ス*フィア基準を満たすものに改定するなど、避難所環境の充実に努めていく。

防災・減災、国土強靭化

問 道路や上下水道等のライフラインの強靭化や内水氾濫対策を、国の防災・減災、国土強靭化の取組と連動し、今後どのように進めていくのか。

副市長 本市では、国土強靭化地域計画に基づき、ライフラインの強靭化、内水氾濫対策に取り組んできた。そうしたなか、令和5年7月の線状降水帯による豪雨の被害を受け、被害が生じた流域ごとに浸水の要因を検討するほか、排水系統の見直しや水路断面の拡大等に取り組んでいる。また、令和6年の震災被害を受け、上下水道施設における避難所等につながる管路や配水池等の急所施設の計画的な耐震化の推進、防災情報一斉配信システムによる浸水情報の発信など、災害対策の充実を図っている。今後も、災害等の発生状況を検証し、計画を見直した上で、国の予算を有効活用し、防災・減災、国土強靭化を推進していく。



8月の大雨による浸水被害（写真は伏木地区）

若い世代に選ばれるまちへ

問 若い世代から「子育てするなら高岡」と選ばれるまちとなるため、子育て支援をはじめ、どのような施策を重点的に進めていくのか。

市長 子育てしやすいまちの実現に向けては、経済的負担の軽減やこどもの居場所づくりが重要である。本市では、保育料や副食費の軽減、0歳児を対象としたおむつ券の給付事業の利用店舗等の拡大や、民間放課後児童クラブ利用料補助金の要件緩和を図っている。また、新たに公設放課後児童クラブを1箇所開設したところであり、今後も民間のクラブの新規開設支援や地域子育て広場の充実等により、こどもの居場所づくりを推進する。引き続き関係機関等と力を合わせ、多様なニーズに対応した保育サービスの充実やこどもの居場所づくりの推進などに重点的に取り組む。

脱炭素と地域経済の成長

問 気候変動による災害リスクが高まるなか、脱炭素先行地域の取組の遅れをどのように立て直し、脱炭素と地域経済の成長を両立していくのか。

生活環境文化部長 国との協議の結果、廃棄物発電の余剰電力の活用や、より現実的な費用で一定の効果が見込める省エネ化事業への切り替えが認められた。これらを推進するとともに、オ*フサイトＰＰＡによる再生可能エネルギーを創出し、地域への普及を図ることで、脱炭素先行地域の目標達成に向けて推し進める。本市の脱炭素先行地域では、サーキュラーエコノミーを産業発展の切り口と捉えている。現在、企業・大学等がアルミのリサイクル技術の研究や事業連携に取り組んでいる。また、御旅屋セリオに整備予定の環境啓発拠点では、親子での環境学習・体験に加え、市内企業における脱炭素の最先端技術の発信を計画している。

＊スフィア基準・オフサイトＰＰＡ：裏表紙（10ページ）の用語解説コーナーをご確認ください。



福井議員の質問の様子はこちら▼

新・高岡愛

福井 直樹

これらを通じ、新産業の創出や技術革新へとつなげていく。

復興会議での検討内容

問　新たな震災復興計画の策定に向け、復興会議ではどのような検討が行われ、現在どのような状況にあるのか。

市長　これまで2回の復興会議を開催し、復興により目指すまちの姿や、その実現に向けた取組について、専門家や、地域団体の代表者等で構成する復興会議の委員の方々から、幅広い視点で意見をいただいた。何十年先を見据えた復興を考える上では、将来を担う若い世代の意見を聞くことが重要との助言を受け、令和8年3月に開催した復興会議以降、地域の若い世代との意見交換を行った。伏木地区の企業や観光客へのヒアリングなども実施し、幅広く意見を聞いた。こうした意見等を踏まえながら、今後第3回復興会議を開催し、検討を重ねてきた目指すまちの姿のイメージや具体的事業を示すことが責務だと考えている。



復興会議の様子

教育の未来

問　社会や教育を取り巻く環境が大きく変化するなか、次期教育大綱の策定にあたり、どのような視点を重視し、今後の本市教育の方向性を示していくのか。

市長　未来を担う本市の子どもたちには、探究的な学びや、生涯にわたって学び続ける姿勢を持つことが重要と考えている。次期教育大綱の策定にあたっては、市民一人ひとりが生涯にわたって学び続けるといった視点を重視したい。「ふるさと高岡の未来を創る自ら学び続けるひとづくり」を基本理念として、地域ぐるみの学びを支える体制づくりや、生涯学習、スポーツ、歴史文化等を通じての豊かな暮らしの実現を目指していきたい。市民一人ひとりが、様々な学びを通して、いきいきと活動し、充実した市民生活を送ることができるよう本市教育の方向性を示したい。

持続可能な農業への展望

問　コメの価格が不安定な中において、持続可能な農業に向けた本市の展望は。

市長　農業を取り巻く環境は、年々厳しさを増しているが、本市の農業には大いに期待している。農地の集積・集約化が進んでおり、先端技術の導入に意欲的な農家も多いためである。今後は、ＪＡ高岡及びＪＡいなばが計画しているカントリーエレベーター等の再編に対する支援を予定している。これにより、種類の異なる米が同時に受入可能となることから、県が奨励する「富富富」の作付け拡大につなげるとともに、集荷から貯蔵までの効率を高め、生産者の負担軽減やコスト削減、高品質な米の安定供給を図りたい。持続可能な農業経営を実現させるため、農業者をはじめ、国や県、関係機関とともに、本市の農業が将来に希望を持つことができる産業となるよう取り組んでいきたい。

企業活動の受皿づくり

問　若者の定着や雇用の確保、地域経済の活性化につなげるため、市内企業が成長できる環境づくりと新たな企業を呼び込む取組が重要と考えるが、本市の産業の将来を見据え、企業活動を支える受け皿づくりをどのように進めていくのか。

産業振興部長　県がとりまとめた地域産業成長プランにおいては、特にマテリアル産業や半導体など、本市と関連が深い分野について投資を加速させていく方針が示された。このため、本市の既存産業の高度化・多角化や新たな企業立地による産業クラスター形成に対する経済界からの期待は大きいと考えている。更なる産業振興を図るためには、企業の新規立地や拡張といった投資の受け皿となる産業用地の確保が極めて効果が高いと考えている。現在、戸出西部金屋地内の産業団地のＩＣパーク高岡に隣接する地域において、県により富山高岡広域都市計画の見直しが進められている。順調にいけば、秋頃には市街化区域への編入手続きが終了するため、産業用地の確保に向け、スピード感を持って進めていく。

レスパイト入院に向けた取組

問　高岡市民病院における医療的ケア児のレスパイト入院に向けた取組状況は。

市民病院事務局長　医療的ケア児及びその家族が地域で安心して暮らすためには、適切な支援を受けられる環境づくりが重要である。当院では、医療的ケア児を受け入れている保育園に看護師を派遣し、必要なケアのサポート等を実施しているほか、家族の負担軽減を図るため、レスパイト入院の実施に向けて準備を行っている。院内に検討チームを設置し、関係者へのヒアリングや専門病院への視察を行うとともに、入院時の流れや必要な医療的ケアの確認、関係職員の研修、備品整備などを進めている。今後、受入基準や運用フロー等を策定するとともに、実際の運用方法やその安全性を確認するなど、年内の実施に向け、安心して入院できる体制を整えていく。

一般質問（一括質問・一括答弁）

今定例会では、17人が市政全般にわたり一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



山野井議員の質問の様子はこちら▼

山野井 拓也
新・高岡愛

災害対策

問 実際の災害から見えた課題を踏まえ、どのように取り組んでいくのか。

市長 避難所の生活環境については、飲料水や衛生的なトイレ等の資器材の充実を図る。また、暑さ対策として、今後は普通教室を柔軟に利用できるようにしたい。加えて、河川改修や雨水幹線整備などに取り組むとともに、遅れることなく避難情報を発令する。引き続きスピード感をもって災害に備えていく。

外国籍市民との共生

問 外国籍市民の転入手続き時、基礎的な情報を多言語等で伝える工夫をしては。

生活環境文化部長 ゴミ分別案内は多言語版を渡している。多言語版がない配布物は、今後、多言語表示のウェブサイトを案内するチラシを作成する。日本での基礎知識については、外国人生活支援ポータルサイトが有効であるため、チラシの中でも紹介する。



梅島議員の質問の様子はこちら▼

梅島 清香
同志会

おむつ応援事業

問 現在、国の臨時交付金を活用して実施しているが、臨時的な財源が終了した後の事業継続についての考えは。

福祉保健部長 交付金が終了した場合でも事業の成果や効果を踏まえ、事業継続を判断することが重要と考える。本事業は多くの利用があり、アンケート調査では、回答した全ての方が継続を希望している。子育て家庭の生活を支える有効な施策と認識しているため、事業の継続に向けて検討を進めていきたい。

学校体育館の空調整備

問 進捗と今後の予定は。

教育長 令和8年度は、伏木中学校とこまどり支援学校に設置する。野村、福岡、戸出西部、戸出東部の4小学校は、9年度中の設置を目指して実施設計を行っており、15年度までに全ての学校体育館への整備を予定している。一方、国では設置率の目標を13年度中に100%とする前倒しの方針を打ち出しており、国の動向も踏まえて今後の整備予定を検討する。



高木議員の質問の様子はこちら▼

髙木 敬介
新・高岡愛

急患医療センター

問 急患医療センターについて問う。

(1)高岡医療圏3市が連携し、耳鼻咽喉科の診療体制を確保することとなったが、3市の連携をどのように進めていくのか、本市の想いは。

(2)3市の費用負担の在り方について、患者の利用実態や関係市の受益等を踏まえ、持続可能な費用負担の考え方を整理していくべきでは。

市長 (1)センターは、3市における安定的な救急医療の提供に寄与しており、持続可能な地域医療体制を確保していくうえで、その役割はますます重要になる。引き続き医療圏3市において課題を共有し、解決に向けて協議を行うなど、緊密な連携を図る。

福祉保健部長 (2)センターの利用者の割合は射水市と氷見市で約3割である。また、新設する耳鼻咽喉科は3市で費用負担することとしている。今後も3市において、医療圏を取り巻く環境の変化を共有するとともに、各市の利用実態や医療提供体制を踏まえた受益負担の考え方を整理していきたい。



耳鼻咽喉科が開設される急患医療センター



山上議員の質問の様子はこちら▼

山上 尊士
公明党

災害時の受援体制

問 更なる受援体制の強化に向けてどのように取り組んでいくのか。

総務部長 本市では、県が主催する「ワンチームとやま訓練」に参加し、県や他市町村との連携を進めている。引き続き、訓練への参加や応援・受援の経験を通じて受援業務の内容や方法を確認・検証し、より実効性のある受援体制の構築に努めていきたい。

環境啓発拠点

問 子育て支援の機能が必要と考えるが、見解は。

生活環境文化部長 本市では、令和10年春の開設を目指し、御旅屋セリオに環境啓発拠点の整備を進めている。子どもにも分かりやすい脱炭素の要

素を取り入れた展示等を想定しており、保護者が見守る中で、子どもたちが楽しく理解を深められる運営に努めたい。



熊木議員の質問の様子はこちら▼

熊木 義城
新・高岡愛

次期障害者基本計画

問 アンケートや実態調査の進捗は。また、把握した声を今後どのように反映するのか。

福祉保健部長 2千人を対象に実態調査を実施した結果、回収率は56・6％だった。あわせて、障がい福祉サービス事業所等へアンケートを実施した。今後は、調査結果や必要とされる支援などの意見を踏まえ、課題やニーズを把握し、相談・支援につながる体制の充実やサービスの質の向上など、次期計画等における障がい福祉施策に反映したい。

おむつ応援事業

問 今後も継続すべきと考えるが、見解は。

福祉保健部長 子育て家庭に必要なおむつに対する経済的負担を軽減し、子どもの健やかな成長を支援するために重要な施策である。子育て家庭から一定の評価を得ており、事業の継続に向けて検討を進めていきたい。



上田議員の質問の様子はこちら▼

上田 武
立憲民主・社民議員団

旧ダイエー跡地

問 取得価格が評価額を上回った理由と根拠は。

市長政策部長 当該土地が分割して複数の事業者等に売却されることなどにより、権利関係が複雑化する懸念があった。将来に向けて、本市が当該土地の利活用を主体的に検討するためには、この状況を回避することが必要と判断し、本市の規定や法令上、不動産鑑定評価額を上回る価格での取得を妨げる規定がないため取得した。

パーキンソン病

問 患者への負担を増やさず、治療薬の安定的な供給ができるよう、県や全国市長会などと連携し、国に要望しては。

福祉保健部長 治療薬の安定的な供給については、国の責務において適切に対応されるべきものと考えており、パーキンソン病をはじめとする指定難病患者の声は、機会を捉え、必要に応じて国や県などに伝えていきたい。



田中議員の質問の様子はこちら▼

田中 勝文
同志会

浸水対策

問 雨水の地下貯留施設を整備すべきと考えるが、見解は。

上下水道局長 地下貯留施設は浸水被害の軽減に有効な対策と考えており、開発行為が行われる際は、地下貯留施設を含む雨水調整施設の設置を指導している。一方、既存市街地等での整備は、用地の確保が課題である。このため、引き続き雨水幹線整備を行うほか、個々の住宅等の浸水被害を軽減できる施策を早期に提案したい。

産業の発展に向けて

問 脱炭素先行地域の取組、伏木富山港の循環経済拠点港湾の選定や県の地域産業クラスター計画等を踏まえ、サーキュラーエコノミーの取組をどのように進めていくのか。

産業振興部長 資源の回収・再資源化から、再生素材の製品への利用、流通・販売までを一連の循環として捉え、大学や企業等との連携を一層強化し、広く展開していくことで、サーキュラーエコノミーを推進する。



アルミ缶自動回収機ECO BASE

未来世代の教育改革

問 今後、どのような教育改革を目指すのか。

市長 探求的な学びを充実し、思考力や発想力、創造力を育みたい。また、小学校段階からの英語学習を充実し、英語力の取得、コミュニケーション能力や表現力の向上につなげたい。教育委員会と連携を図り、未来を担う子どもたちが自ら考え、学び続ける教育環境を実現したい。



塚本議員の質問の様子はこちら▼

塚本 政彦
新・高岡愛

ふるさと教育

問 高岡開町の日を「ふるさと教育の日」と位置づけ、本市の歴史に対する理解を深める教育機会としては。

教育長 9月13日は前田利長公が高岡城に入城し、高岡の町が開かれた、本市にとって大事な日である。各校では、このことを児童生徒に伝え、この時期に開催される伝統行事、イベント等への参加を促すことで、ふるさと教育の一層の充実に努めていく。



新開議員の質問の様子はこちら▼

新開 広恵
公明党

クレームやいじめ対応

問 学校や教育委員会など組織的な対応について、現状は。

教育長　管理職のリーダーシップのもと、状況確認、情報共有を図った後、学校全体で解決に向けて取り組んでいる。学校だけでは対応が困難な事案は教育委員会へ速やかに報告し、指導・助言を受けている。また、事案の性質に応じ、県教育委員会のスクールロイヤーや本市法務アドバイザーの法的な観点からの助言を受け、適切な対応に努めている。

おとぎの森公園30周年

問　将来像とその実現に向けた思いは。

市長　将来においても子どもたちの声が響き渡り、多くの方に愛される公園としたい。そのため、高岡おとぎの森公園魅力向上計画に基づき、現在実施している親水遊具の整備を進めるとともに、老朽化した遊具などの改修や更新に取り組みたい。



水越議員の質問の様子はこちら▼

水越　進一
自民党無派閥会

小規模農業者への支援

問　今後、小規模農業者を市としてどのように支えていくのか。また、具体的な取組は。

産業振興部長　本市では、これまでも多面的機能支払交付金を活用し、農地や農業用施設の維持保全に努めてきた。また、麦や大豆等の生産に対し支援を行うなど、小規模農業者の経営安定に資する取組を進めてきた。今後も国・県・関係機関と連携し、小規模農業者が農業を続けられる環境づくりに努めたい。



稲刈りに励む市民

高齢者介護施設の整備

問　第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に高齢者介護施設の適切な配置や増設の予定を示す整備計画を盛り込み、重点的に取り組んでは。

福祉保健部長　人口動態などの将来推計を行った上で、高岡市介護保険運営協議会で具体的な協議を重ねていく。その議論を踏まえ、適正な配置と計画的な整備を進めるための整備方針を第10期計画に盛り込み、重点的に取り組んでいきたい。



酒井議員の質問の様子はこちら▼

酒井　善広
同志会

学校の再編統合

問　学校の再編統合の現状は。また、児童生徒数の推移を踏まえ、「今後10年を見据えた高岡市における小中学校の配置について」を更新しては。

教育長　学校の再編統合は予定通りに進捗している。より良い教育環境の確保のため、人口動態や児童生徒数の推移、各学校の老朽化状況等を踏まえた計画的な施設整備が重要である。これまでの成果や課題を検証し、地域の意見を伺いながら、施設整備の新たな計画の検討を進めていきたい。

高齢者福祉

問　人口減少、少子高齢化が及ぼす影響を踏まえ、今後どのような点を重視して高齢者福祉の取組を進めるのか。

福祉保健部長　令和9年度を始期とする計画では、「2040年を見据えた、限られた社会資源のなかでの持続可能な制度運営」を中長期ビジョンに掲げ、地域包括ケアシステムを持続可能な体制へ深化させていくことを重視している。



林議員の質問の様子はこちら▼

林　貴文
新・高岡愛

浸水対策

問　近年頻発する浸水被害を踏まえ、これまで以上の対策を実施するための調査・検討をすべきでは。

上下水道局長　毎年のように被害が出ており、調査・検討が必要と考えている。特に被害が深刻化している伏木地区において、効果的な対策を検討するため、伏木地区内水浸水対策検討業務を行うこととしており、準備を進めている。

太田・雨晴地区の復旧

問　令和8年8月の大雨による被害について、市ができる対策を速やかに講じるとともに、国や県など関係機関にも協力を求め、一日も早い復旧に取り組むべきでは。

市長　追加補正予算や場合によっては予備費も活用し、できる限り迅速に復旧に取り組みたい。今後は国・県・関係機関等の協力を得ながら、速やかに復旧に努めたい。



植野議員の質問の様子はこちら▼

植野　佳奈
新・高岡愛

基金運用と財政

問　基金残高の推移をどのように捉えているのか。また、どの程度の基金残高を確保する必要があると考えるのか。

総務部長　過去5年間は増加傾向だが、今後は減少していく予定である。本市の標準財政規模は約400億円であり、その10％程度より多く確保することが望ましいため、行財政改革推進プランの令和9年度目標を基金の合計で約40億円と設定している。

超過課税

問　企業誘致、企業支援、起

業支援を進めると同時に、法人には標準を超える税負担を求めることについて、見解は。

市長　法人市民税法人税割の超過課税は、重要な財源である。税負担を求めることと、企業支援等を進めることは、矛盾しているように見えるかもしれないが、市民の豊かな暮らしを支え、企業が事業活動を行う環境整備にも寄与していると認識している。引き続き理解と協力を賜りたい。



八田 一弥
高岡忍者会

八田議員の質問の様子はこちら▼

道の駅万葉の里高岡

問　道の駅万葉の里高岡について問う。

(1)日中は駐車場が空いていないこともあるが、大規模災害の際は自衛隊や災害復旧の特殊車両の利用が想定されるため、駐車場の拡張に取り組んでは。

(2)「ひみ番屋街」や「KOKOくろべ」などの事例を参考に道の駅の魅力向上に取り組んでは。

都市創造部長　(1)現在、国において、駐車場の出入交通量や、駐車マスの占有状況などの調査を行い、駐車場利用の状況把握を行っている。今後は、調査結果を踏まえ、国と駐車場の拡張についても検討していきたい。

市長　(2)人気の道の駅では、ターゲットを絞り、特色を出すことに取り組んでいる。そのため、まずは現状を確認し、どのような特色を出せるのか、どういった道の駅を目指すべきなのかを改めて考え、市民や観光客に親しまれる道の駅の可能性を追求していきたい。



本田 利麻
同志会

本田議員の質問の様子はこちら▼

駅周辺の環境整備

問　城端線・氷見線にパークアンドライドなどの整備が必要と考えるが、見解は。

都市創造部長　パークアンドライドなどの整備は、城端線・氷見線の利便性向上だけでなく、公共交通を利用しやすい環境づくりにつながる。一方で、用地確保や整備、維持管理に大きな負担も発生することから、利用者ニーズや必要性、効果なども見極めながら取り組みたい。

5歳児健診の実施

問　健診結果を小学校生活へのスムーズな移行につなげるため、関係機関がどのように連携して進めていくのか。

福祉保健部長　現在、保育園等と小学校が情報共有を行っている。これに加え、今後は保健師が健診結果や支援経過の情報を保育園等と小学校に提供することとしている。これらを通じ、小学校生活へのスムーズな移行につなげたい。



石須 大雄
立憲民主・社民議員団

石須議員の質問の様子はこちら▼

災害対策

問　災害の対応について問う。

(1)内水被害に対する今後のハード面での対策は。

(2)一刻も早く震災からの復旧を進めることが災害に対する市民の不安の払拭につながると思うが、見解は。

上下水道局長　(1)震災以降、伏木地区では令和7年8月に続き8年8月と浸水被害が出ていることから、雨水施設の増強など、伏木地区に効果的なハード対策の検討を進める。まずは個々の住宅等の浸水被害を軽減できる施策を早期に提案したい。

市長　(2)9年度にずれ込むものがあるかもしれないが、ほとんどの復旧作業が8年度中に終了する。震災からの復旧・復興と大雨被害、この複合的な課題に取り組むため、国や県、関係機関と話し合い、住民の方々の現状を聞きながら、一歩一歩進めていきたい。



中川 加津代
Kirari-きらり-

中川議員の質問の様子はこちら▼

介護の負担軽減

問　老老介護や認認介護による家族の身体的・精神的負担を軽減するため、地域密着型の認知症高齢者向けグループホームをさらに充実させては。

福祉保健部長　今後の人口動態や要介護認定者数などの将来推計を行った上で、高岡市介護保険運営協議会において、地域ごとのサービス見込み量や適正な配置、増設の必要性などについて、年内に具体的な整備方針を協議する。

認知症対策の充実

問　認知症があっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けたいという市民の願いに応えるための今後の取組は。

福祉保健部長　令和9年度を始期とする第1期認知症施策推進計画の策定を進めている。計画では、認知症の正しい知識を持つこと、新*しい認知症観を自分ごととして理解すること、当人や家族とともに施策を推進すること、この3点を基本的な考え方として取組を進める。これにより、認知症があっても安心して日常生活を営むことができるまちづくりを推進していきたい。



通いの場に集う高齢者

＊新しい認知症観：裏表紙(10ページ)の用語解説コーナーをご確認ください。

委員会の動き

常任委員会では、当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。委員からの主な質疑と当局からの答弁は次のとおりです。

○総務文教常任委員会

問 今回予備費として5千万円が計上されているが、このうち既に対応した復旧事業に充当する分と、今後の不測の事態の備えとして計上する分、それぞれの内訳は。

答 既に対応した又は対応することとしている復旧事業に充当する分は3968万8千円、残りは現時点で確認が取れていない復旧対応を想定している。当初予算に計上している予備費も含め、緊急性を要するものについては、躊躇することなく対応していきたい。

○民生病院常任委員会

問 災害見舞金支給事業について、床上浸水世帯に対して、県からは5万円が支給されるとのことだが、市からはいくら支給されるのか。

答 市では床上浸水世帯については2万円と規定しているが、県が新たに今回の大雨に限り5万円としたことから、市もそれに合わせて5万円とした。

○産業建設常任委員会

問 道の駅管理事業費について、雷被害の対策は事前にしていなかったのか。

答 大きな建物については避雷針などで対策しているが、その他の施設については保険等で対応している。

用語解説コーナー

スフィア基準 ※4ページ掲載
災害や紛争の被災者が尊厳のある生活を送るための国際的な人道支援の最低基準。正式名称は「人道憲章と人道対応に関する最低基準」。

オフサイトPPA ※4ページ掲載
需要家（企業や自治体など）の敷地外にある遠隔地に再生可能エネルギーの発電設備を設置し、送配電網を介して電力を調達・購入する仕組み。

新しい認知症観 ※9ページ掲載
認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人ひとりができることや、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方。

12月定例会の予定

12月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、11月24日㈪開催予定の議会運営委員会で決定されます。

1日㈫	9時	代表者会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議（提案理由説明）
7日㈰	10時	本会議（一般質問（一括））
8日㈪	10時	本会議（一般質問（一括））
9日㈫	10時	本会議（一般質問（一括）予備日）
10日㈬	10時	議会運営委員会
11日㈭	10時	本会議（一般質問（一問一答））
14日㈰	9時	代表者会議
	10時	民生病院常任委員会
	13時	産業建設常任委員会
15日㈪	10時	議会運営委員会
	13時	総務文教常任委員会
18日㈭	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議（議案など議決）

♣ 詳しい内容については、高岡市議会事務局（☎20－1531）までお問い合わせください。

決算特別委員会の予定

令和7年度分の決算審査は、下記のとおり開催される予定です。

11月 4日㈫	10時	水道病院会計	（大綱説明）
	13時	普通会計	（大綱説明）
11月 5日㈬	9時30分	普通会計	（審査）
	10時	水道病院会計	（審査）
11月 6日㈭	9時30分	普通会計	（審査）
	10時	水道病院会計	（審査）
11月13日㈭	10時	水道病院会計	（討論・採決）
	13時	普通会計	（討論・採決）

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名（うち車椅子利用者は5名）まで、委員会は7名まで傍聴できます。

6月定例会以降の傍聴者数

	本会議	委員会
令和8年 7月	－	5人
8月	－	0人
9月	77人	3人

編集後記

今年も熊本地震をはじめ、全国各地で多くの災害が相次いでいます。被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

そのような中で開会した9月定例会では、防災・災害対策に関する質問が多く取り上げられました。また、市民生活に直結する様々な課題についても、活発な議論が交わされました。人口減少や少子高齢化が進むなか、地域交通、医療・福祉、子育て支援、公共施設のあり方など、将来を見据えて考えていかなければならない課題が多くなっています。

議会には、市民の方々の声を市政に届けるとともに、市の施策や方向性を確認し、より良いまちづくりにつなげていく役割があります。今回の議会だよりを通して、議会でどのような議論が行われ、どのような課題があるのかを、少しでも身近に感じていただければ幸いです。（梅島 記）

★編集委員
◎熊木　○酒井
山野井、植野、山上、梅島、田中、筏井、高岡、上田
（◎委員長　○副委員長）

印刷／小間印刷株式会社